

## USD / JPY 米ドル円 月次レポート

前月振り返りと2026年9月の相場展望

発行日

September 1, 2026

対象期間

8月実績 / 9月展望

通貨ペア

USD / JPY

発行頻度

Monthly

8月末レート（終値）

159.741

+1.42%（8月月間騰落率）

8月高値

160.197

8月安値

155.211

FED金利

3.50-3.75%

BOJ金利

1.00%

## 今月のハイライト

8月は157.51円からスタートし8月後半にかけて160.20円近辺まで上昇したが、月安値155.21円まで下落する局面もあり、最終的に159.74円で引け、月間+1.42%となった

8月はFOMCが開催されなかった。8/28のジャクソンホール講演でWarsh議長がインフレはまだ十分に改善していないと述べ、9月の利上げ観測が意識される場面があった

日銀は8月に会合がなく、政策金利は1.00%で継続。8/27に氷見野副総裁が9月会合を含め毎回の会合で利上げをしっかりと検討していく旨を述べ、利上げ路線を維持する姿勢がうかがえた

月末にかけて円安が優勢となり159円台を回復。日米ともに次回会合は9月に予定されており、両中銀の姿勢が最大の焦点となる

9月 基本シナリオ レンジ

155 - 163円

9/15-16にFOMC（SEP公表）、9/17-18に日銀会合。両中銀の姿勢が最大の焦点

日米政策金利差

最大2.75pp

政策金利上限ベース（Fed上限3.75% - BOJ1.00%）。前月と同水準

始値

157.508

8月最初の取引日

高値

160.197

月中最高値

安値

155.211

月中最安値

月間騰落

+1.42%

+2.233円

## 8月の相場動向

8月のドル円は**157.51円でスタートし、8月後半にかけて160.20円近辺まで上昇**した。8月はFOMCが開催されなかったが、8/28のジャクソンホール講演でWarsh議長はインフレはまだ十分に改善していないとし、追加引き締めの可能性を排除しない姿勢を示した。これがドルの下値を支える材料のひとつとなったとみられる。

一方、155.21円まで下落する場面もあった。日銀は8月に会合がなかったが、8/27に**氷見野副総裁が9月会合を含め毎回の会合で利上げをしっかりと検討していく**と述べ、物価の上振れリスクをこれまで以上に意識する必要があるとし、利上げ路線を維持する考えを示した。最終的に159.74円で引け、月間+1.42%となった。9月中旬にFOMC（SEP公表）・日銀会合が相次いで開催されるため、両中銀の姿勢への注目が高まっている。

## 主要イベントの影響

### us FED / 8月ジャクソンホール講演

**8月はFOMCが開催されなかった**（次回は9/15-16、SEP・ドットプロット公表回）

8/28のジャクソンホール講演でWarsh議長は、インフレはまだ十分に改善していないとし、追加引き締めの可能性を排除しない姿勢を示した

9月FOMCでの利上げ観測が市場で意識されるなか、米金利は上昇圧力を維持した

### JP 日銀 / 8月は会合なし・要人発言

**8月は金融政策決定会合が開催されなかった**（8月は年間スケジュール上の会合月ではない）

8月27日、氷見野副総裁は埼玉県での講演・記者会見で、物価の上振れリスクをこれまで以上に意識する必要があるとし、9月会合を含め毎回の会合で利上げについてしっかりと検討していくと述べた

現行の政策金利（無担保コール翌日物レートの誘導目標）は1.00%で継続。次回会合は9/17-18

## 8月の総括

8月は両中銀とも会合がなかったが、月末のジャクソンホール講演でWarsh議長が利上げの可能性を排除しなかったことや、市場では氷見野副総裁の発言を9月利上げに向けた地ならしと受け止める向きもあり、材料のひとつとなった。最終的に月間+1.42%と円安に振れた。**9月にはFOMCと日銀会合が相次いで開催予定**であり、両中銀の決定と発言内容が今後の相場の方向性を見極める材料となる可能性がある。

## 9月の注目ポイント

9月の最大の焦点は、①**9/15-16のFOMC（SEP・ドットプロット公表回）**と②**9/17-18の日銀金融政策決定会合**の2点である。Fedは利上げの可能性を残しており、ドットプロットの上方修正があればドル高圧力が高まる可能性がある。一方、日銀は氷見野副総裁が9月会合を含む毎回の会合で利上げを検討していく旨を述べており、市場では追加利上げの可能性が意識されている。9月中旬の両会合を前に、ポジション管理が重要な月となる見込みだ。

## シナリオ別レンジ予測

|                                                                                           |     |                                   |            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------|------------|
|  <b>強気</b> | 25% | Fedが9月に利上げまたはタカ派ドットプロット、金利差主導でドル高 | 160 – 165円 |
|  <b>基本</b> | 50% | Fed・日銀ともに市場予想の範囲内。指標・会合にらみのレンジ推移  | 155 – 163円 |
|  <b>弱気</b> | 25% | 日銀が追加利上げ、またはFedが慎重姿勢でドル安          | 151 – 158円 |

## リスク要因

| リスク要因               | 確率 | 方向 | 概要・影響                             |
|---------------------|----|----|-----------------------------------|
| Fedの9月利上げ（9/15-16）  | 中  | 円安 | タカ派ドットプロットや利上げ実施でドル高圧力が強まる可能性     |
| 日銀の9月追加利上げ（9/17-18） | 中  | 円高 | 1.25%への利上げなら金利差縮小を意識した円買いが強まりやすい  |
| 米インフレ指標の上振れ         | 中  | 円安 | 9月FOMC前の米CPIが上振れすれば利上げ観測が強まりドル高圧力 |
| 地政学リスクの高まり          | 中  | 円高 | 中東情勢の悪化等でリスク回避局面では円買いが強まりやすい      |

## 9月の見通し

基本シナリオは**155～163円のレンジ**とみている。日米金利差は最大2.75ppと引き続きドルに有利な水準にあるが、9月のFOMC・日銀会合がともに重要な分岐点となる。Fedのタカ派姿勢と日銀の利上げ路線が交差するなか、ポジション管理が重要な月となりやすい。

### 用語解説

#### Fed / FOMC

米国の中央銀行（連邦準備制度）とその政策決定機関。8月は会合なし。次回9/15-16（SEP・ドットプロット公表）。

#### 日銀（BOJ）

日本銀行の略称。8月は会合なし。氷見野副総裁は9月会合を含む毎回の会合で利上げを検討する旨を述べた。次回9/17-18。

#### 政策金利 / 金利差

中央銀行が設定する基準金利。政策金利上限ベースの日米金利差はFed上限3.75%－BOJ1.00%＝最大2.75pp。

#### ジャクソンホール講演

毎年8月にカンザスシティ連銀主催で開かれる経済シンポジウム。Fed議長の講演が金融政策の方向性を示す場となりやすい。

#### SEP / ドットプロット

FOMCが四半期ごとに公表する経済見通し（Summary of Economic Projections）。メンバーの金利見通しを点で示したグラフ。次回9月公表。

#### キャリートレード / 巻き戻し

低金利通貨（円）で高金利通貨を運用し金利差収益を狙う取引。リスク回避時の一斉解消は円高要因となりやすい。

### 免責事項

- 本情報は、AI（Anthropic社が提供するClaude）（以下、情報提供者）が作成し、GMOあおぞらネット銀行株式会社（以下、当社）がお客さまに提供いたしますが、当社および情報提供者が参照した情報およびそれに基づく情報提供者の見解の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。
- 本情報は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本情報で言及した通貨や投資戦略は、投資に関する経験や知識、経済状況および投資目的が異なるすべてのお客さまに、一律に適合するとは限りません。
- 投資判断の最終決定は、お客さまご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 本情報に記載された内容は、公開時においては最新の情報でない可能性があります。
- 本情報に基づき投資を行った結果、お客さまに何らかの損害が発生した場合でも、当社および情報提供者は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。
- 著作権等：本情報に係る著作権その他の知的財産権は、別段の表示がない限り、当社に帰属するものとします。